

私たちの挑戦

クラレグループは創業以来、事業を通じた社会的課題の解決と新たな価値の創造に挑戦してきました。

コーポレートタグライン「Possible starts here」には、今日に至るまで変わることのないこの企業姿勢とともに、より良い未来のために、クラレグループを起点として社会と価値を共創していきたいという想いを込めています。

ブランドストーリー

kuraray

Possible starts here

—— 新たな可能性は、ここから始まる。 ——

可能性を追い求める挑戦こそが、常識を覆し、世の中に大きな進化をもたらします。

20世紀初頭、パイオニア精神を持った一人の起業家が、ある可能性を追い求めました。

企業で働く人と、その企業に関わるすべての人を大切にし、社会への貢献と事業の成長を両立させるという挑戦です。

それがクラレの始まりです。

およそ100年を経た21世紀の今、私たちにはかつてないほどの大きな挑戦が求められています。

たとえば、安全な水の確保、フードロスの削減、温室効果ガスの削減などへの挑戦。

たとえば、独自のアイデアで新しい顧客体験を生み出す挑戦。

“世のため人のため”を追い求める私たちの信念は、創業当時から変わりません。

クラレはこれからも、社会の幸せのために。

クラレはこれからも、化学の力を信じて。

そして、クラレはこれからも、お客様とともに。

私たちは、力を合わせることで、新たな可能性が始まることを知っています。

そして、より良い世界が生まれることも。

より安全で、より快適で、よりサステナブルな未来を実現するために、

クラレは皆さまとともに挑み続けます。

新たな価値 創造への挑戦

クラレグループでは、保有する製品・技術・サービスと5つのメガトレンドを照らし合わせ、解決すべき社会的課題を明確化し、ターゲット領域として設定しています。

これらの領域に関連する事業、製品に重点的に経営資源を配分するとともに、M&Aや他社とのアライアンスなども検討し、既存事業の拡大と新規事業の創出を図ります。

5つのメガトレンドとターゲット領域

地球環境の改善

環境負荷低減

水・大気の浄化

- 吸着・ろ過



マイクロプラスチック低減

- 生分解性ポリマー
- 紙製品への機能付与



サーキュラーエコノミー

- モノマテリアル化
- 循環型ビジネスモデル

温暖化防止

GHG捕捉

- 吸収、分離



GHG利活用

- EOR[※]への適用
- ※ Enhanced Oil Recovery、原油増進回収
- CO₂を原料としたポリマー合成

GHG排出量低減

- バイオ原料使用拡大
- モノの軽量化
- 燃料転換、効率向上

食料・水の確保

フードロス削減

- 消費期限長期化

農業生産性の向上

- 防虫、種子コート



安全な水の確保

- PFAS (有機フッ素化合物) 除去



デジタル化・高速通信

電気・電子機器材料

- 電子機器、回路基板
- 半導体製造装置関連



高速通信機器

- 携帯情報端末 (電磁波防止シールド)
- 5G通信機器関連



エネルギーの有効活用

蓄電デバイス向け材料

- 二次電池 (負極材など)



エネルギー関連材料

- 風力発電部材

電気・電子デバイス材料

- 次世代自動車 (高電圧部品など)



生活の質の向上

健康、ヘルスケア

- 歯科材料
- 生体治療材料



美容、生活用品

- 水溶性個包装
- サニタリー用品

室内・車内環境向上

- 空気清浄
- 高機能ディスプレイ
- 制振シーラント
- 内装材 (カーシートなど)

